

単位数	2	学科（型） 学年	建設工学科（建築型） 3 年	教科書 副教材等	建築施工（実教出版）
学習目標		各構造別の工事順序・工事方法や建築物の保全、解体工事、環境保全について学習する。また、契約を交わした建築物を予定の期間と予算内に完成させるための工事管理や施工体制づくりの基礎的な事項を取り上げ、積算等の実務的な内容についても学習し、その知識・技術を活用する能力と態度を身に付ける。			
学期	学習内容			学習のねらい	
1	第 1 章 建築施工のあらまし			○建築生産者の相互関係と役割を学習する。また、建築施工の流れと工事の概要を学習する。	
	第 2 章 工事の準備			○地盤・敷地調査の重要性を認識し、その種類・方法を学習する。	
	第 3 章 地面から下の工事			○杭工事の有無による土工事・地業工事の流れの違いを理解する。	
	第 4 章 木構造の工事			○木構造の基礎や骨組、躯体、仕上げの工事を学習する。	
	第 5 章 鉄筋コンクリート構造の工事			○鉄筋コンクリート構造の鉄筋と型枠の組立、コンクリートの打込み方法、躯体工事の流れ、および仕上工事を学習する。	
2	第 6 章 鋼構造の工事			○鋼構造の基礎、骨組、仕上げ工事を学習する。また、骨組を火熱から守る耐火被覆の工事も学習する。	
	第 7 章 建築物の保全			○保全の分類と考え方を学習する。また、各構造について理解を深め、適切な保全を考察する。	
	第 8 章 解体工事と環境保全			○解体工法の種類を理解する。また、建設廃棄物の処理や建設資材の再資源化の重要性を考察する。	
	第 9 章 建築の業務			○工事契約・現場組織の編成・施工計画・施工管理を学習する。	
3	第 1 0 章 建築工事費の算出			○積算方法・積算書類のまとめ方を学習する。	
評価の観点		内 容			
知識・技術		・専門的知識・技術を習得するとともに、実習において、実務的な技能を活用し、表現をすることができる。			
思考・判断・表現		・実際の建築生産技術について考え、また諸問題を発見し、その解決を目指して自ら思考を深め適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けようとしている。			
主体的に学習に取り組む態度		・専門的知識・技術の習得に意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的、実践的な態度を身に付けようとしている。専門的知識・技術を身に付け、建築生産技術の意義や役割を理解しようとしている。			
評価方法	学習状況は、「知識・技術」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の 3 つの評価の観点で評価します。具体的には、主に「出席の状況」、「授業中の態度や取り組む姿勢」、「提出物」、「小テスト」、「定期考査」により評価します。				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
○ 定期考査は、授業の内容から出題します。					
○ 課題やノート等の提出物は、必ず提出期限を守りましょう。					
○ 授業中は指示をしっかりと聞き、積極的に参加してください。					
○ 2 級建築施工管理技術検定の過去問題を解き、専門的知識の習熟度を確認しましょう。					